



2018年 第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

August 9, 2018

1 . 2018年第2四半期累計業績	3
2 . 2018年通期業績予想	10

1. 2018年第2四半期累計業績

2018年第2四半期累計 事業環境



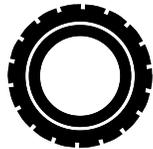
為替

- USDは円高、EURは円安に推移
1USD=109円 1EUR=131円
(参考) 17年上期 1USD=112円 1EUR=122円



原材料

- 天然ゴム価格は対前年下回るも、原油価格は上昇



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- 日本での前年駆け込み影響等あるも、グローバルで概ね堅調

相場動向 (平均価格) 推移

	2017年		2018年
	上期	下期	上期
天然ゴム 〈TSR20〉※ (¢/kg)	181	148	143
天然ゴム 〈RSS#3〉※ (¢/kg)	229	170	168
原油 〈WTI〉 (\$/bbl)	50	51	65

タイヤ需要※1 (本数前年比) ※1 需要数値は当社推定

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
日本	100%	94%	96%	87%
北米	97%	101% (USTMA97%)	118%	105% (USTMA98%) ※2
欧州	102%	99%	103%	100%

※ Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

※2 Source: U.S. Tire Manufacturers Association

2018年第2四半期累計 タイヤ販売（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	99%
-------	-----

新車用タイヤ

日本	103%
北米	112%
欧州	102%
中国・アジア大洋州	109%

補修用タイヤ

日本	94%
北米	93%
欧州	99%
中国・アジア大洋州	93%



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	103%
-------	------

新車用タイヤ

日本	97%
北米	136%
欧州	116%
中国・アジア大洋州	134%

補修用タイヤ

日本	86%
北米	89%
欧州	97%
中国・アジア大洋州	102%



ORR ※

超大型ORR	115%
大型ORR	105%

ORR超大型/大型共に伸長



PSR

18インチ以上

グローバル	120%
-------	------

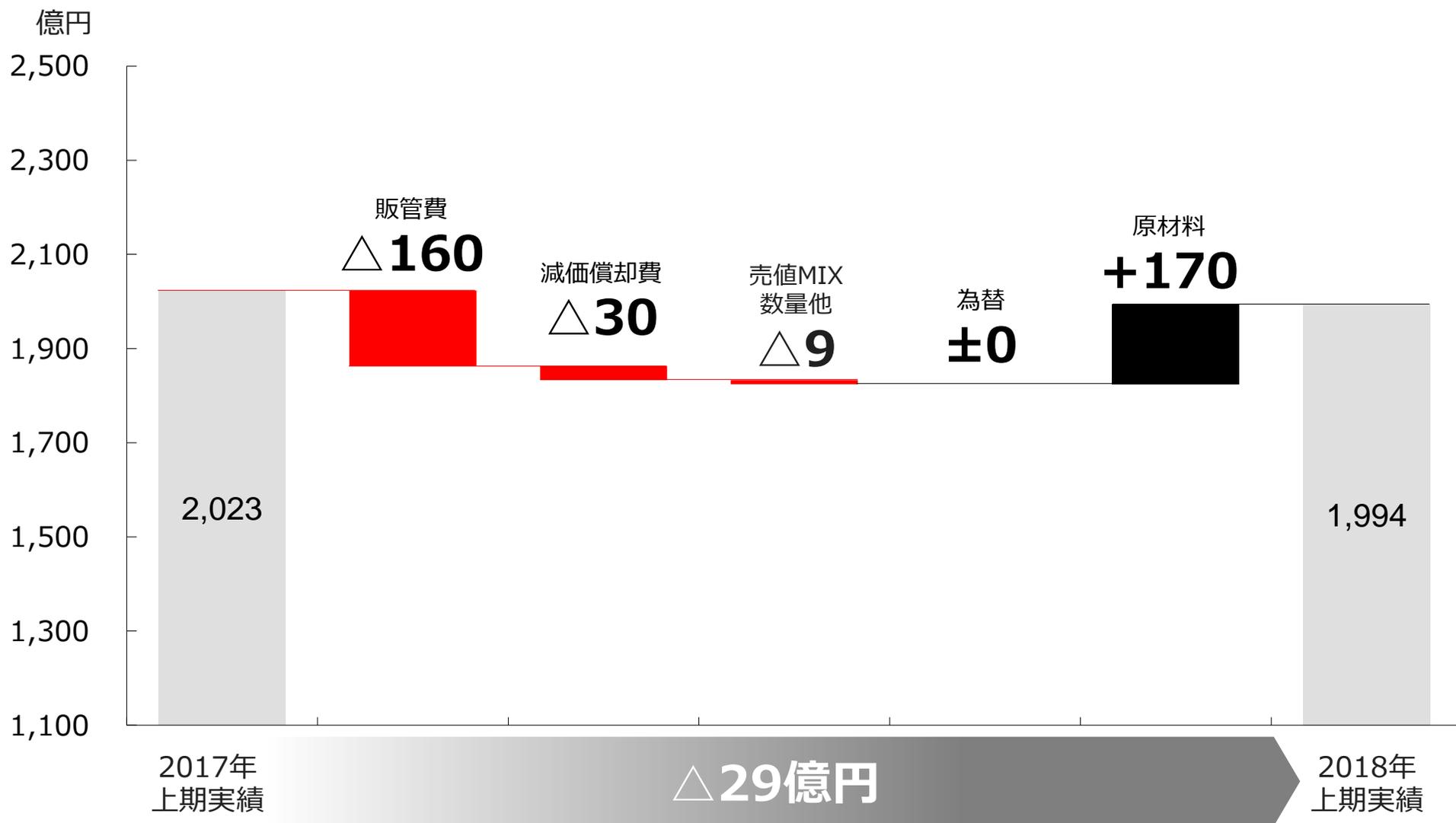
※ORRのみゴム量ベース

2018年第2四半期累計 連結業績概要

(単位：億円)

	2017年 第2四半期累計 実績	2018年 第2四半期累計 実績	増減 (%)	(参考 '18/2/16発表) 2018年 第2四半期累計予想
売上高	17,428	17,754	+2	18,100
タイヤ部門	14,397	14,740	+2	14,900
多角化部門	3,107	3,116	-	3,200
営業利益	2,023 利益率 11.6%	1,994 利益率 11.2%	$\triangle 1$ 利益率 $\triangle 0.4\%$	1,960 利益率 10.8%
タイヤ部門	1,851	1,906	+3	1,800
多角化部門	171	89	$\triangle 48$	160
経常利益	1,958	1,907	$\triangle 3$	1,840
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,318	1,346	+2	1,290
1株当たり配当金	70円	80円	+10円	80円
USドル	112円	109円	$\triangle 3$ 円	108円
ユーロ	122円	131円	+9円	132円

2018年第2四半期累計 営業利益増減要因 (前年差)



2018年第2四半期累計 所在地別セグメント業績概要

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 累計実績	2018年 第2四半期 累計実績	増減(%)	(参考 '18/2/16発表) 2018年第2四半期 累計予想
連結 売上高	17,428	17,754	+2	18,100
日本	5,345	5,494	+3	5,600
米州	8,633	8,610	-	8,700
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	2,709	2,951	+9	3,000
中国・アジア大洋州	3,105	3,209	+3	3,200
連結 営業利益	2,023	1,994	△1	1,960
日本	650	721	+11	670
米州	898	893	△1	930
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	53	56	+6	75
中国・アジア大洋州	348	325	△7	320

2018年第2四半期 貸借対照表ハイライト

(単位：億円)

	2017年 期末実績	2018年 第2四半期末実績	対前年末
総投下資本残高	39,590	37,895	△1,695
内 流動資産	19,870	19,080	△789
内 固定資産	19,720	18,814	△905
純資産	24,027	23,824	△202
自己資本比率	59.2%	61.4%	+2.2%
有利子負債（ネット）	△ 427	224	+651
	2017年 第2四半期累計実績	2018年 第2四半期累計実績	対前年
設備投資	778	1,098	+320
減価償却費	960	980	+19

2. 2018年通期 業績予想

2018年通期 事業環境見通し



為替

- USDは円高、EURは円安を想定
1USD=108円 1EUR=128円

(参考) 17年年間 1USD=112円 1EUR=127円
2月計画年間 1USD=108円 1EUR=132円



原材料

- 天然ゴム価格は対前年下回るも、
原油価格は対前年上回る想定



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- グローバルで堅調な需要を想定

為替動向

(単位：円)

	2018年		
	上期	下期	通期
USドル	109	108	108
ユーロ	131	125	128

タイヤ需要※ (本数前年比)

※ 需要数値は当社推定

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
日本	100%	99%	97%	99%
北米	99%	101%	111%	104%
欧州	103%	99%	104%	104%
アジア	102%	102%	106%	102%

(アジア：タイ・インドネシア・インド・中国の4ヶ国計)

2018年通期 タイヤ販売予想（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	若干の増
-------	------

新車用タイヤ

日本	若干の増
北米	1割強の増
欧州	若干の増
中国・アジア大洋州	1割弱の増

補修用タイヤ

日本	若干の増
北米	若干の減
欧州	若干の増
中国・アジア大洋州	若干の減



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	1割弱の増
-------	-------

新車用タイヤ

日本	前年並
北米	2割強の増
欧州	2割弱の増
中国・アジア大洋州	2割弱の増

補修用タイヤ

日本	若干の増
北米	前年並
欧州	1割弱の増
中国・アジア大洋州	前年並



ORR ※

超大型ORR	120%
大型ORR	110%

ORR超大型/大型共に伸長
概ね2月計画並みを見込む



PSR

18インチ以上

グローバル	115%
-------	------

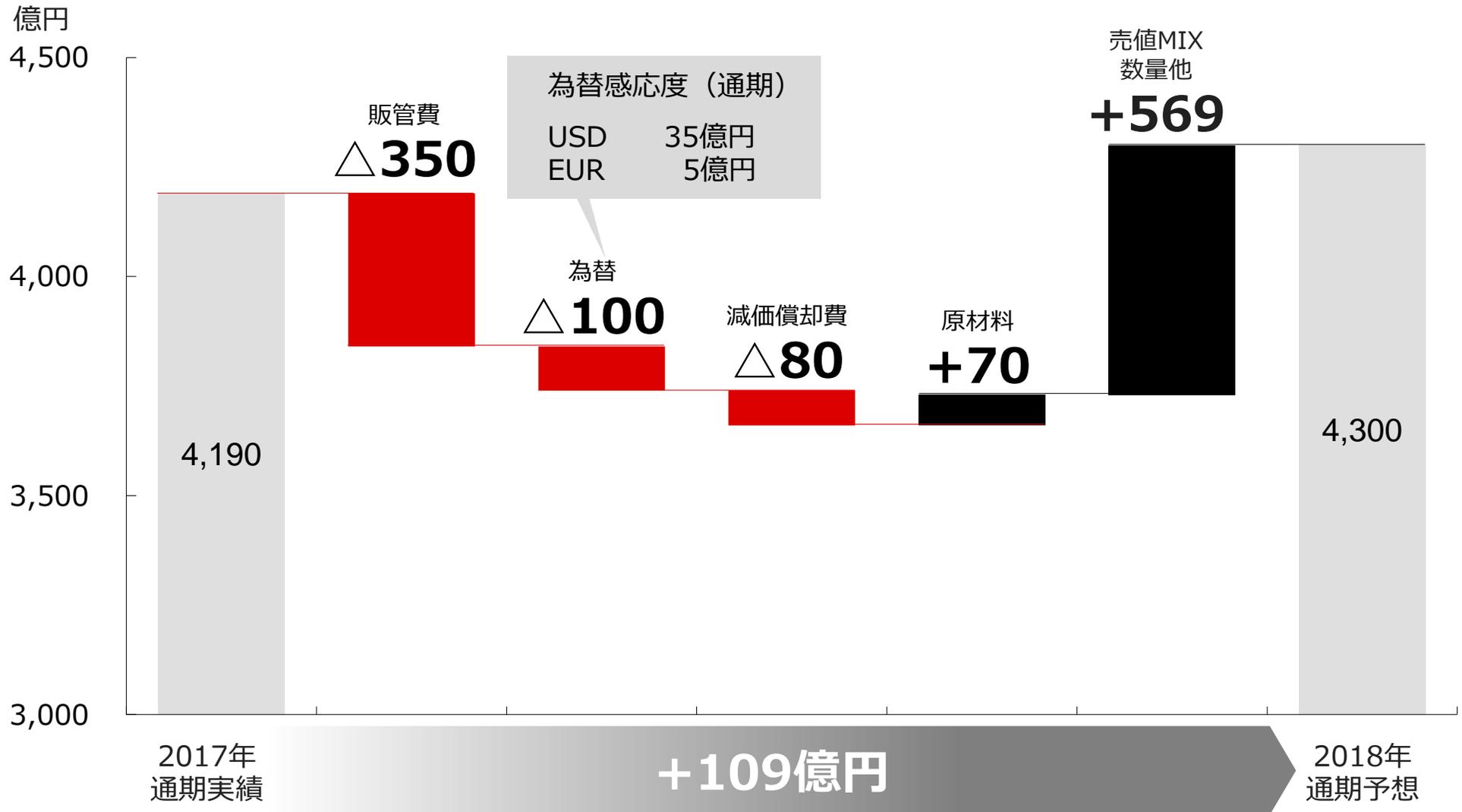
※ORRのみゴム量ベース

2018年通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2017年 通期実績	2018年 通期予想	増減 (%)	(参考 '18/2/16発表) 2018年通期予想
売上高	36,434	37,000	+2	38,000
タイヤ部門	30,311	30,800	+2	31,700
多角化部門	6,278	6,200	△1	6,400
営業利益	4,190 利益率 11.5%	4,300 利益率 11.6%	+3 利益率 +0.1%	4,630 利益率 12.2%
タイヤ部門	3,871	4,130	+7	4,290
多角化部門	318	160	△50	340
経常利益	4,005	4,030	+1	4,390
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,882	3,050	+6	3,080
1株当たり配当金	150円	160円	+10円	160円
USドル	112円	108円	△4円	108円
ユーロ	127円	128円	+1円	132円

2018年通期 営業利益増減要因予想 (前年差)



2018年通期 所在地別セグメント業績予想

(単位：億円)

	2017年 通期実績	2018年 通期予想	増減(%)	(参考 '18/2/16発表) 2018年通期予想
連結 売上高	36,434	37,000	+2	38,000
日本	11,478	11,800	+3	12,000
米州	17,765	17,500	△1	18,000
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	5,598	5,900	+5	6,100
中国・アジア大洋州	6,488	6,700	+3	6,900
連結 営業利益	4,190	4,300	+3	4,630
日本	1,602	1,560	△3	1,640
米州	1,875	1,970	+5	2,200
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	136	210	+54	230
中国・アジア大洋州	629	670	+6	720

総括

連結業績

上期実績	補修用タイヤ販売数量未達あるも、販管費の適切なコントロール等により2月計画並みの営業利益確保
通期予想	ソリューションを含む販売の拡大、Mixの継続的改善等により、対前年増収増益を見込む

Highlights

- グローバルで堅調な需要を想定、各種販売施策により前年を上回る販売を目指す
- ORR超大型/大型共に対前年伸長を見込む
- 適切な価格ポジショニングにより、売値の増益影響は概ね2月計画並みを確保
- 米州事業：ウィルソン、ジョリエット工場の能力増力による18インチ以上タイヤを中心とした販売拡大、Mix改善、各種改善施策推進により、通期対前年増益を見込む
(米国のタイヤ卸売事業会社TireHubが2018年7月より営業を開始)



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。